

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1	施設名	仙台市陸上競技場
2	指定管理者	公益財団法人 仙台市スポーツ振興事業団
3	指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日
4	施設の利用状況	<p>《利用者数》平成30年度 232,715人 (前年度比98.3%) 平成29年度 236,623人 平成28年度 188,559人 ※前指定管理者 平成27年度 180,946人 ※前指定管理者</p> <p>《事業》 自主事業(スポーツ教室等)を実施,参加者数14,095人。 スポーツ教室等:通年型 5教室/定期型 5教室/フリー参加型 10種目 10,048人 イベント・大会等:7イベント 4,047人</p>
5	収支の状況	<p>《費用》 ()は前年度決算額</p> <ul style="list-style-type: none"> 指定管理者に支払った費用 32,252千円 (35,341千円) その他市が負担した費用 2,048千円 (21,815千円) <p>《収入》</p> <ul style="list-style-type: none"> 使用料収入 0千円 (0千円) ※利用料金制 その他収入 3,843千円 (3,779千円)
6	利用者の声	<p>《実施状況》 平成30年10月1日～21日までスポーツ施設利用者アンケートを実施した。</p>

二 管理運営に係る評価

(モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野	所見	評価
I 総則	施設の設置目的に基づいた運営方針が確立されており、職員の理解のもとに、施設運営が行われている。	24/24
II 施設の運営管理体制	職員の配置及び開館状況は事業計画に相違なく、経理も適切に処理されている。 また、事故防止に向けた体制を構築し、安全に対する職員間の意識の浸透が概ね図られている。	30/30
III 施設・設備の維持管理	建物の内外及び設備について、安全の確保がなされ、利用者が快適に利用できるような状態を保持している。	23/23
IV サービスの質の向上	職員に対する接遇研修を行い、利用者が気持ちよく施設を利用できるような努力をしており、平成30年度に実施した利用者アンケートでは、概ね満足していただいている結果を得ている。	28/28
V 施設固有の基準	協定書及び事業計画書のとおり、スポーツ教室等の自主事業を積極的に行い、市民のスポーツ振興に大きく寄与した。 市内唯一の公認陸上競技場としての特性を活かしたスポーツ教室、事業を実施している。 また、施設が宮城野原公園総合運動公園内にあり、同公園内に楽天生命パーク宮城がある地域の特性を存分に活かして、上記のイベントを実施しており、先進的な取り組みであると言える。 指定管理者の負担によるトレーニング室設置は、当施設が市内のスポーツ施設で2例目である。利用者にとって利便性が増し、施設の効用を増大させる先進的な取り組みであると言える。	4/2

三 その他特に評価すべき優れた取組み

(指定管理者の優れた取組みを評価する 加点要素)

評価すべき取組み	評価すべき理由		
なし	なし		
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 70%; text-align: center;">加点評価</td> <td style="width: 30%; text-align: center;">—</td> </tr> </table>		加点評価	—
加点評価	—		

四 評価総括

《指定管理者（公益財団法人仙台市スポーツ振興事業団）による自己評価》
<p>①施設管理運営 施設及び設備の維持保全に効果的に取り組めたことは、利用者へ安全で快適な施設利用を提供できたと評価しております。また、利用者からの窓口や電話での意見・要望も記録し、職員間で共有したうえで参考にすることでより良い施設運営のために活用できたと考えております。</p> <p>②設備修繕 故障箇所を発見した際は軽微なものに関しては職員が部品交換・修理を迅速に行い、できないものについても速やかに応急処置を施し、遅滞無く専門業者へ修繕を依頼し安全・快適性を向上させるように対処いたしました。また、専門業者の定期的なメンテナンスについても、報告書を基に修理を行い、設備の延命を図りました。</p> <p>③危機管理 災害等に備え、「危機管理マニュアル」を作成し、万が一の非常事態発生時に迅速に対応できるよう、施設職員や組織としての連絡網を作成しております。また、数名の職員に救急救命講習を受講してもらい、かつ受講した職員による伝達研修を施設職員におこなうことで全職員の意識向上に努めてまいりました。</p> <p>④自主事業 市内唯一の陸上競技場であり、多くの陸上競技での一般利用者とのバランスを考慮しながら、隣接している楽天野球団と共催事業を実施するなど、特性を活かした事業展開を図りました。</p> <p>⑤その他(利用者サービスの向上) 通常、利用が比較的少なく、また大会運営にも支障をきたさない会議室にトレーニング機器を設置し有効活用しました。陸上競技者に対し施設の付加価値を高めるとともに、健康増進を目的とする市民に対しても気軽に運動できる環境を提供し利用者の拡大を図りました。 上記のことから、ハード(施設管理事業)とソフト(自主事業)が上手く合致し、積極的かつ満足いく市民サービスが提供できたものと自己評価いたします。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>施設の設置目的に基づいた運営方針が明確に示されており、職員全体として質の高いサービスの提供と業務の効率化、経費節減に努めている。</p> <p>施設の運営管理体制については、職員の配置及び開館状況は事業計画に相違なく、経理も適切に処理されており、事故防止に向けた体制を構築し、安全に対する職員間の意識の浸透が概ね図られている。</p> <p>施設設備の維持管理については、建物の内外及び設備について、安全の確保がなされ、利用者が快適に利用できるような状態を保持している。</p> <p>サービスの質の向上については、様々なスポーツ教室を開催するなど、市民のスポーツ振興及び普及に寄与している。市内唯一の公認陸上競技場としての特性を活かしたスポーツ教室、事業を実施している。また、施設が宮城野原公園総合運動公園内にあり、同公園内に楽天命パーク宮城がある地域の特性を存分に活かして、上記のイベントを実施しており、先進的な取り組みであると言える。指定管理者の負担によるトレーニング室設置は、当施設が市内のスポーツ施設で2例目である。利用者にとって利便性が増し、施設の効用を増大させる先進的な取り組みであると言える。</p>	S

◎ 評価担当課（施設所管課）：文化観光局文化スポーツ部スポーツ振興課